



サイエンスカフェ

science Café

サイエンスカフェとは？

(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

第70回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日時：2023年 11月17日(金)
18:00 ~ 19:30

●場所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4
オンラインも開催します。

●テーマ：「暗号通貨の基盤技術：
ブロックチェーン」

●ゲスト：荒木 俊輔 氏
(大学院情報工学研究院
情報・通信工学研究系 准教授)

●申込み：必要 (定員 対面20名 100名程度)

参加費用 **無料**

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

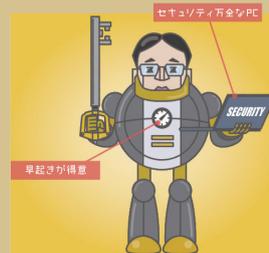
メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

Web：https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/pr/sciencecafe

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



ゲスト紹介

あら き しゅんすけ
荒木 俊輔 氏

大学院情報工学研究院
情報・通信工学研究系
准教授

ビットコインに代表される暗号通貨を構成する基盤技術として、分散台帳技術「ブロックチェーン」があります。

本来、デジタルデータは痕跡を残さない書き換えが可能であるため、信頼性が重要な用途には適していません。このような特性を持つデジタルデータに対して、このブロックチェーン技術が、どの様にして「通貨」として信頼できる情報に変えているのかについて解説していきます。



国立大学法人

九州工業大学

情報工学部

